



もりた洋一の一般質問



1. マンション管理問題について

質問：マンション実態調査は、外部依頼の方がよいのではないか。

答弁：現在協力頂いている千葉県マンション管理士会の意見を聴きながら先行自治体の状況を調査する。

2. 河川におけるモグラ対策について

質問：江戸川堤防にモグラの穴が増え続ければ、堤防決壊の一因ともなりうる。国土交通省と連携して対策を協議すべきではないか。

答弁：国土交通省では、毎日河川巡視を行いモグラの穴のことも把握しており対策を検討する。菜の花をはじめとした植物が堤防に影響があるかも注視する。市は地域住民安全確保のための堤防情報を国交省に提供する。

3. 保育所行政について

質問：待機児童の課題をどう解決するのか。

答弁：総定員数389人増の保育所整備を進め、平成23年4月に待機児童ゼロとする。

質問：3歳未満児に特化した保育所が必要ではないか。

答弁：当該年齢の急増傾向は認識しており、定員枠拡大・受け入れ強化を実施する。既存分園を3歳未満児に特化した施設にすることも検討する。

質問：民間委託の方向性は。

答弁：耐震診断など総合的に判断し、改修する施設と民間による代替施設

へと移行する施設に統合する。

4. 文化芸術観光振興条例制定について

質問：条例制定に向けて、制度設計や優先順位付けが必要ではないか。

答弁：重要性を認識し、制度設計には時間を要する。施設の改修や耐震補強の後に検討する。

5. 農業政策について

質問：新規就農者への支援充実が必要ではないか。

答弁：情報提供や補助金制度の充実、新規就農機会の拡大を図っていく。農地貸付が可能な農家の調査も実施している。

6. 生物多様性戦略について

質問：市長のマニフェストと整合性は取れているか。

答弁：趣旨として整合性が図られている。

質問：戦略期間（50年）を実行性の高いものにするための課題整理は。

答弁：市民活動団体と生物多様性の保全・回復に取り組む。計画を初期・中期・最終段階に分けるなど実行性の高いものにする。

7. 国際姉妹都市締結について

質問：市民協議会で抽出された課題と今後の展望は。

答弁：平成21年度内に報告書をまとめ、方向性を整理する。流山ウエルカムガイド・企業誘致ガイド・ホームページの充実も必要。